

胆沢平野

「いさわへいやの唄」

胆沢平野 きらきら光る
たくさんの 水路が 広がって
すみずみまで 水をはこぶ
みんなの笑顔を 写して

胆沢川が 時をかけて 作った
扇状地に 行きわたるよ 命の水

すいすい水陸万頃の
ゆたかな 大地にめぐまれ
どう どう 流れる 水の音
新しい時代始まりの合図



【第1回胆沢平野土地改良区収穫祭】

目次

表紙（胆沢平野土地改良区収穫祭）	P1
理事長挨拶	P2
全国土地改良事業功績者表彰	
第34回 ダム建設功績者表彰	P3
第1回 胆沢平野土地改良区 収穫祭開催！	P4
委員会設立	P6
岩手県アドプト活動モデル賞受賞 小違堰（乙女川）地区 「あぜみちランニング・ウォーキング大会」開催	
幹線水路への倒木処理について	P7
お知らせ・編集後記	P8

表紙は、平成26年11月9日（日）に開催しました、第1回胆沢平野土地改良区 収穫祭のメインイベント、アンダーパス！による「いさわへいやの唄」の発表時の様子です。この唄は胆沢ダムが完成し、未来永劫絶えることのない命の水を確保できた喜びを忘れないように作られた曲で、曲に振り付けをし、佐倉河小学校3年生の皆さんにダンスを踊っていただきました。この曲を通して、胆沢平野の新たな水文化を伝え、「命の水」への感謝と維持の大切さを次世代の子供達へつないでいきます。



新年にあたって

胆沢平野土地改良区
理事長 及川正和

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を迎えられましたことと、お慶びを申し上げます。

又、昨年中は本土地改良区の円滑な運営に特段の温かいご理解と力強いご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて昨年は、胆沢ダムの本格供用開始により「農業用水の安定供給」を本格的にスタートすることが出来た、正に記念すべき年でありました。

そして、奥州湖からの絶えることのない「命の水」の喜びと感動・感謝を後世に伝える円筒分水工の噴水スポットには県内外から多くの方が訪れ、又、胆沢平野土地改良区のテーマソングの作成発表と収穫祭には、1,200名を上回る来場者を迎えた盛會裏に終えることができました。

さらには、ほ場整備事業等に付きましても事業実施地区8地区、調査地区6地区を合わせた2,188haで事業推進されており、中山間地域総合整備事業愛宕地区も着工を迎える等、県内最大の事業面積となっております。

こうした地域にあっては、今や汎用性に優れた低コスト農業生産基盤としてのほ場整備が着々と推進され、水利施設の合理化、高度化による生産の効率化も極限まで進められております。

組合員皆様方並びに関係機関の皆様方に、改めて感謝を申し上げます。

一方、国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を取りまとめ、4つの改革が本格的にスタートいたしました。

これまで2度の農政の大改革は、昭和22年の農地解放であり、昭和45年に開始された減反政策であると考えます。そして平成26年度にスタートした農政改革は、国内人口とコメの需要が減少する中で、コメ以外の農産物の生産比率を高めるとともに、コメの輸出増大と担い手農家が生業として好きなだけ作付けし、もって農村の所得倍増を目指すものと思料されます。

こうした中で、農業・農村整備の在り方として、又、土地改良区として農業生産の究極である「農業用水の安定確保」と「農業生産基盤強化」に尽きると考えます。

特にも今回の農政改革の冒頭に経営力に優れた担い手の確保と10年後を目途に農地集積率80%の数値目標、その具体として大区画ほ場整備の推進が明記されております。

この施策を踏まえますとき、「ほ場整備」の推進に向けて本年は、新たに4地区841haで調査申請が予定されております。同時に、岩手大学との共同研究である「農業経営力調査」を踏まえた、クラウドシステムネットワークによる「担い手支援」を進めて参りたいと考えております。

結びに、本年が組合員の皆様方にとりまして、ご健勝にて実り多い一年となります事を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。

監 事 北 條 忠 龍	監 事 小野寺 忠 男	総括監事 及 川 右	理 事 吉 田 勝 幸	理 事 渡 辺 陽	理 事 岩 村 耕	理 事 千 田 一	理 事 佐々木 田 正	理 事 小野寺 吉 力	副理事長 三 田 紀己男	理事長 及川正和	本年も宜しくお願い致します 謹賀新年
----------------------------	-------------------------	---------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------	-------------	------------------------------

及川正和理事長が「全国土地改良事業功績者表彰(農村振興局長表彰)」受賞!!

第37回全国土地改良大会が、平成26年10月30日(木)に山梨県甲府市で開催され、小泉昭夫農林水産副大臣をはじめ、全国の水土里ネット関係者3,600人が参加しました。

受賞式は全国土地改良大会の席上で行われ、土地改良功績者として本土地改良区理事長が受賞者を代表して登壇し、小林祐一農村振興局次長から表彰状と記念品を授与されました。

当日の受賞者



表彰式の様子

「胆沢平野土地改良区」が第34回ダム建設功績者表彰受賞



平成26年11月28日(金)東京プリンスホテルにおいて、第34回ダム建設功績者表彰式典が開催され、本土地改良区理事長が登壇し、表彰状を授与されました。

この「ダム建設功績者表彰」は、国土交通省の指導のもと、ダム建設に永年にわたりご尽力された方々の事績を広く顕彰する目的で昭和56年度

より実施されている表彰です。今年度は、団体として本土地改良区ほか4団体、31名が受賞となりました。

本土地改良区は、「ダム等に関わる上下流交流に著しく功績のあった団体」として、東北地方整備局より推薦いただき、受賞したものです。



第1回 胆沢平野土地改良区 収穫祭開催！

平成26年11月9日(日)胆沢平野土地改良区事務所駐車場において第1回 胆沢平野土地改良区 収穫祭を開催しました。

胆沢ダムの完成により未来永劫絶えることのない豊かな命の水を確保できることから、今年度を「新たな水文化のスタートの年」と位置付けており、胆沢平野を潤し育む豊かな水の恵みのもたらす五穀豊穣に感謝する目的で開催したものです。また、東日本大震災から3年以上が経過し、本土地改良区では復興応援祭、モーターポートの寄贈等復興支援に取り組んできました。

収穫祭では、沿岸被災地の復興した水田で収穫された米「たかたのゆめ」と漁業者により復興された牡蠣をはじめとする海産物を堪能して頂くことにより「沿岸の復興支援」として併せて開催しました。



プログラム 10:00~13:30

- こじか幼稚園「ピアニカ・太鼓」演奏
- ドレミ保育園児による「百姓踊り」の披露
- ひがし幼稚園児による「よさこいソーラン」披露
- 餅つき大会＆餅振る舞い
絶品芋の子汁振る舞い
- よさこい「飛勇凜」による「胆沢平野豊潤の郷」披露
- 農産物・海産物タイムセール
- アンダーパス！によるイメージソング披露
佐倉河小学校3年生児童による踊りの披露
- お楽しみ大抽選会
- もちまき大会

当日は1,200名を超える来場があり、開会セレモニーで及川理事長は「胆沢ダムが完成し、未来永劫絶えることのない命の水を確保できました喜びを忘れないよう、そして、水の恵みがもたらす豊かな実りに感謝するため開催しました。この思いを後世に伝えたい」と挨拶。

子供達が口ずさみ、胆沢平野の水文化に親しんでもらいたいという思いで、「たらりら」など岩手の市町村を歌った曲で有名な「アンダーパス！」に「いさわへいやの唄」を作詞・作曲して頂き、佐倉河小学校3年生の踊りと共に、この収穫祭で披露させていただきました。歌詞の中には、胆沢ダム、円筒分水工などの施設名や「命の水」「水陸万頃」など、胆沢平野土地改良区管内をポップな曲調で、子供達にも親しみやすく歌われています。



会場では、被災し瓦礫と塩害に苦しめられた水田が、復興し収穫できた様子を紹介したパネル展示や沿岸地域の農産物、海産物の販売、そして、漁師の牡蠣小屋による焼き牡蠣の販売。義援金縁日コーナーではスーパー・ボールすくいなど、子供達が遊べるコーナーや、胆沢平野土地改良区イメージキャラクター「アクアくん」との写真撮影会も設けられました。



大船渡から来た焼き牡蠣



アンダーパス！によるいさわへいやの唄



子供達とふれあうアクアくん



こじか幼稚園ピアニカ、太鼓演奏



ドレミ保育園児による百姓踊り



もちまき大会



餅つき大会



産直の出店



飛勇凜による胆沢平野豊潤の郷

施設見学会バスツアー【胆沢ダムからの命の水に感謝】

同日、収穫祭と併せて秋の円筒分水工と胆沢ダムを見学するバスツアーを実施しました。会場で募集受付を行い、定員を上回る申し込みがあり大好評でした。円筒分水工には昨年から非かんがい期でも維持用水を流しており、「命水の大噴水」は10月で終了していましたが、参加者には特別に晩秋の円筒分水工に噴水が噴き上がる瞬間を見ていただくことができました。また、胆沢ダムでは、紅葉の映る水面の大きさに改めて胆沢ダムの雄大さと命の水の恵みを実感した見学会となりました。



収穫祭義援金縁日コーナーの義援金を岩手県土地改良事業団体連合会へ贈呈!!沿岸の復興支援へ!!



義援金縁日コーナー

収穫祭で募金頂いた義援金66,138円を12月15日(月)に岩手県土地改良事業団体連合会へ及川理事長より贈呈をいたしました。

今回の義援金は岩手県土地改良事業団体連合会を通じ、沿岸の被災地支援として活用されることとなります。

皆様からの心温まる募金に、改めて御礼を申し上げます。



◆姉体秋成地区基盤整備事業促進委員会設立◆

平成26年10月26日（日）上島会館において姉体秋成地区基盤整備事業促進委員会設立総会が関係者約20名出席のもと開催され、及川善男促進委員長を始め副委員長7名、監事2名が選出されました。

今後は、平成27年度の県営計画調査事業採択を目指し、事業区域や営農ビジョンの検討、それに関する集落説明会、アンケート調査など採択に向けた様々な活動が実施されます。

姉体秋成地区促進委員会設立総会



及川善男促進委員長

姉体秋成地区

姉体秋成地区は、本土地改良区管内の最下流に位置し、北上川堤防に囲まれた約76haの水田地帯で、胆沢ダム完成前は恒常的な農業用水不足に悩まされてきました。

さらに昭和30年代から40年代に造られた10a区画の農業生産基盤は、年を経る毎に老朽化が進み農作業効率の悪さが深刻化、加えて厳しい農業情勢と将来の農業を見据え、この現状を改善すべく昨年より基盤整備事業の立ち上げが進められてきました。

◆中山間地域総合整備事業愛宕地区施行委員会設立◆

平成26年10月26日（日）胆沢愛宕地区センターにおいて、中山間地域総合整備事業愛宕地区施行委員会設立総会が関係者約50名出席のもと開催され、阿部祝男委員長を始め副委員長2名、監事2名が選出されました。

愛宕地区は、昭和40年代に整備した30a区画水田への用排水路、農道整備、湿田への暗渠排水整備等に取り組むための事業を平成14年から模索し、地元負担を可能な限り軽減できる「中山間地域総合整備事業」に着目し検討を重ね、平成22年度から25年度まで、4年間の県営計画調査を経て、めでたく本事業採択となり施行委員会設立の運びとなりました。

愛宕地区

愛宕地区は、胆沢平野管内で最も上流部に位置し、歴史ある穴山堰水系からなる水田地帯で、昭和46年から51年に本土地改良区管内初の県営事業となった、ほ場整備事業「若柳第一工区」約540haに取り組み、現在に至っています。

しかしながら、標準区画30aに整理された農業生産基盤の用水路は、開渠方式であったことから、老朽化による漏水等が進み農作業にも支障を来す個所も多い現状となっております。この現状を改善すべく、用水のパイプライン化及び湿田への暗渠排水整備等が進められます。



設立総会の様子



老朽化により漏水が多い用水路



暗渠排水の必要な湿田

岩手県アドプト活動モデル賞受賞 小違堰(乙女川)地区

平成26年12月11日(木) 岩手県民会館にて開催された「いわて農林水産躍進大会」において、小違堰(乙女川)地区の実施団体(石田北、石田西、石田南、勝手町、上町、川原小路、大手町西、大手町東、立町、大町、柳町、三本木、西常盤、花園町、北常盤、跡呂井)の各町内会と協定団体の奥州市、胆沢平野土地改良区がアドプト活動モデル賞を受賞しました。

この賞は、岩手県が活動の効果や必要性について県民の皆さんに理解を深めていただくと共に、広く県内各地に波及させる事を目的に創設され、模範となる組織が表彰されています。

小違堰(乙女川)地区は、近隣の16町内会が4,487mの区間で、一斉に水路清掃や花の植栽を行い、良好な景観の保持と地域への愛着心の醸成等を図ってきた取り組みが評価され、今回の受賞となりました。
※アドプトとは；養子縁組のことで、水路施設を養子とみなし、活動を行う団体を里親として胆沢平野土地改良区、奥州市が協定を締結して継続的に清掃活動等を行う取り組みです。



受賞した皆さん

内田ため池「田んぼの学校」収穫祭

「あぜみちランニング・ウォーキング大会」開催

平成26年11月24日(月) 胆沢区若柳字西風地内において、今回で9回目を迎える内田ため池「田んぼの学校」収穫祭と併せて、昨年から2回目となる「あぜみちランニング・ウォーキング大会」を開催しました。これは、胆沢平野田園博物館構想の新たな取り組みとして、「田園風景を眺めながらあぜみちをランニング」するため通称「あぜラン」と命名し、奥州市胆沢総合支所の産業振興課と共同で開催したものです。当日は、天候にも恵まれ、爽やかなランニング日和の中、子供から岩手大学の学生、お年寄りまで約50名が走ったり歩いたりしながら2.5kmのコースを満喫しました。

岩手大学の学生は、「空気も澄んでいるし、景色は綺麗だし、走っても全然疲れないコースでした。」と話していました。

また、地元小学生と大学生が競争したり、今年の活動の思い出を話しながら歩いたりと楽しい交流の場になりました。

完走後は地元のお母さん達が作った料理に舌鼓をうちながら、今年の活動を振り返ったスライドを見たり、余興などで盛り上がり、1年間の活動を労いました。



余興として狼狽田神楽披露



参加した皆さんお疲れ様でした

お知らせ!!

幹線水路への倒木処理について

胆沢平野土地改良区が管理する幹線水路に、個人所有の立木が倒れた場合の処理方法

1. 個人所有の立木は、原則として個人で撤去処理して下さい。
2. 所有者が、遠隔地にお住まいの方や高齢の方で、すぐに対応できない場合には、土地改良区にご連絡下さい。

■連絡先：胆沢平野土地改良区 水利整備課

■電 話：0197-24-0171

■F A X：0197-24-0174



土地改良区からのお願いとお知らせ

●賦課金の納付には、口座振替をお勧めします●

口座振替可能な金融機関：岩手ふるさと農業協同組合、ゆうちょ銀行

岩手ふるさと農協、ゆうちょ銀行からの口座振替のお申し込みにつきましては、各金融機関での手続きとなります。手続きには1ヶ月程度かかりますので、お早めにお申し込み下さい。

●下記のような場合は、必ず土地改良区に届出をお願いします●

組合員の資格に異動があった場合	農地の権利が異動したとき（売買、交換、相続、贈与、公売・競売等） 農地を貸借したときまたは、解約したとき 農業者年金の受給または、老齢等で後継者に經營移譲するとき	農地の権利に異動がある場合は、印鑑（認め印可）のほか、農地（字、地番、地積等）が確認できる書類をご持参の上、関係者両者で改良区に申請をして下さい。	お問い合わせ先 【賦課徵収課】 電話24-0171
●組合員が亡くなられたとき ●組合員の住所が変わったとき ※公共機関（国・県・市町等）で手続きをしても、本人より土地改良区への届け出がなければ変更になりません。	印鑑（認め印可）が必要です。		
農地を転用する場合	●農地を宅地等に転用する場合 ●農地を公共用地（道路等）として買収された場合 ※公共機関（国・県・市町等）で手続きをしても、本人より土地改良区への届け出がなければ変更なりません。	必要書類等についてはお問い合わせ下さい。	



職員人事異動一覧表							(平成26年11月1日付)			
氏名	旧 所 属				新 所 属				備考	
	課	係	職名	兼職	課	係	職名	兼職		
小野寺 和人	総務		課長補佐		総務		課長		昇格	
小原 朱美	総務		主査		総務		課長補佐		昇格	
石川 康幸	企画換地		主査		企画換地		課長補佐		昇格	
渡辺めぐみ	総務	会計	係長	賦課徵収課主任	総務	会計	係長			
鈴木 明日香	水利整備	施設	主事		総務	会計	主事			

退職者			
藤田 優	総務	課長	平成26年10月31日付

フェイス 職員紹介

鈴木 明日香
 総務課 主事
 出身地：北上市

●仕事の内容を教えてください。
 総務課会計係として、日々の出納・伝票整理を中心に行っています。今の時期は年末調整や源泉徴収票の作成にかかる業務も行います。

●休日はどのように過ごしていますか？
 1歳の息子の世話と家事で、休日はほとんど終わってしまいます。

●2年目ですが、仕事に対しての心構えはありますか？
 他の職員の業務と連動しているので、周囲の進捗を確認したり、また、自分の業務遅滞で迷惑をかけないようにと心がけています。

●組合員の皆さんに一言！
 皆様のご要望に迅速にお応えできるような職員を目指し、上司や先輩職員たちにならって邁進して参ります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

去年の日本列島は、局地的大雨、最強台風の直撃、土砂崩れ、火山の噴火、南国四国地方の大雪など、天変地異の凄さにおどろき、農家は米価の超下落におどろき、声も出ないほどです。今年は平穏な良い年でありますようにと、お祈りし、農家にとっては、今年も一俵でも多く収穫できることを願い新しい年を迎えるました。

□広報編集委員	編集委員：小原 朱美、千葉佐知子（総務課）
委員長：三田紀己男 総務担当代表理事	小野寺一也、阿部 知行（水利整備課）
副委員長：吉田力雄 事業担当代表理事	石川 美香（賦課徵収課）
	佐々木 稔、伊藤 早織（企画換地課）